

都市再生整備計画 事後評価シート
みなかみ町後閑町組周辺地区

平成28年10月

群馬県みなかみ町

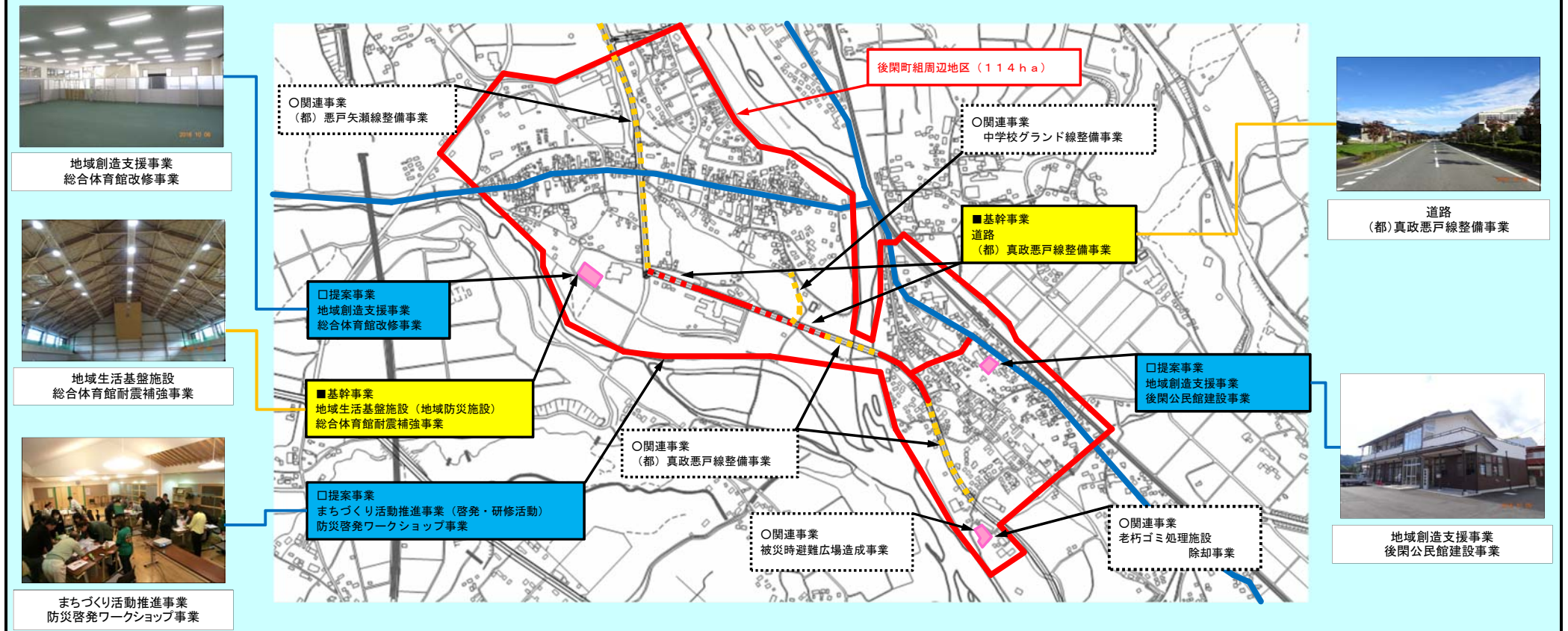
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県		市町村名	みなかみ町		地区名	後閑町組周辺地区			面積	114 ha		
交付期間	平成25年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成28年度		交付対象事業費	1,840 百万円		国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	<ul style="list-style-type: none"> ・道路(真政悪戸線整備事業) ・地域生活基盤施設(総合体育館耐震補強事業、被災時避難広場造成事業) 										
		提案事業	<ul style="list-style-type: none"> ・地域創造支援事業(老朽ゴミ処理施設除却事業、公民館機能更新事業、総合体育館機能更新事業) ・まちづくり活動推進事業(啓発・研修活動) 										
	当初計画から削除した事業	事業名					削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響			
		基幹事業	・地域生活基盤施設(被災時避難広場造成事業)				・衛生センターの除却に伴い、みなかみ町単独事業により、跡地とその周辺をアスファルト舗装により平坦化した。これにより、形態的には避難広場として機能しうするため。			・避難広場の機能は有しているため、指標は据え置く。			
		提案事業	・地域創造支援事業(老朽ゴミ処理施設除却事業)				・みなかみ町の単独事業により、H27/5に事業実施したため。			・実質的に除却は完了しているため、指標は据え置く。			
		新たに追加した事業	基幹事業	・なし									
提案事業	・なし												
交付期間の変更	当初	平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
	変更	平成25年度～平成27年度											
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	指標1	避難施設へのアクセス時間短縮	分	31	H24	25	H29	—	20	○	あり	・平成29年度の完成を予定している「真政悪戸線新橋(徒渉橋)区間を除いて実測し、徒渉橋区間(約100m)は他からの平均歩行速度で算定した結果、目標値を大きくクリアできた。全区間の実測は、フォローアップにて対応する。	H30.10
	指標2	防災環境の評価	%	37	H24	55	H29	47	47	△	あり	・目標値には達していないものの、当初指標に比べ10ポイント向上した。徒渉橋完成後には、目標値をクリアすると判断される。	H30.10
	指標3	地域防災への参加意欲向上	%	41	H24	65	H29	86	86	○	あり	・防災啓発ワークショップの活動とその波及効果により、目標値を大きくクリアできたと判断する。	H30.10
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標達成度※1	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	その他の数値指標1												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・真政悪戸線整備されたエリアは、これまで河岸沿いの荒蕪地的な印象が残っていたが、開通後は住宅の新築が進み、本町の新しい都市イメージといえる、健康的で明るい景観が創出された。 												
5) 実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	・住民アンケートの実施				<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 					●		・事業期間中のモニタリングを明確に位置づけ、所定様式に則り行った。
	住民参加プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・後閑区防災啓発ワークショップの活動 ・町組区防災啓発ワークショップの活動 				<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 					●		・地域の身近な災害発生に関する災害啓発意識の向上を図る方針である。
	持続的なまちづくり体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> ・後閑区自主防災会の活動充実 ・町組区自主防災会の活動充実 				<ul style="list-style-type: none"> 都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった 					●		・住民自らが、地域の安全と安心に取り組む、主体的な自主防災会を充実させる方針である。

様式2-2 地区の概要

後閑町組周辺地区(群馬県みなかみ町) 都市再生整備計画の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
【地域が連携しあい、誰もが安全と安心を実感できるまちづくり】 【目標1】利根川兩岸を連結し、地域の面的な利便性向上と避難施設、公施設へのアクセス性改善を図る。 【目標2】災害避難拠点を改修整備し、安全と安心が実感できる地域環境を創出する。 【目標3】コミュニティ核施設を整備し、活力と魅力ある地域活動を促進する。	避難施設へのアクセス時間短縮	分	31	H24	25	H29	20	H28
	防災環境の評価	%	37	H24	55	H29	47	H27
	地域防災への参加意欲向上	%	41	H24	65	H29	86	H27



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・利根川によって分断されていた兩岸地域の連結に目的が立ち、都市内交通と土地利用が大きく制約されていた旧月夜野地域の根幹的な課題が解消されつつある。 ・真政悪戸線の地区南側沿道では、順調な宅地化が進んでいるが、沿道以外の背後地では、紆余曲折した生活道路が抜け道として利用されるなど、発生交通の増加に対応しきれないエリアがある。
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度に予定されている「徒渉(ただわたり)橋」を整備し兩岸の連結を実現する。 ・幹線道路沿道の合理的土地利用の実現に留意するとともに、奥行きを持った背後地の細街路整備に努め、面的な基盤環境を整える。 ・避難所や地区公民館等のコミュニティー施設を拠点とした、地域住民の主体的な防災活動を活性化させ、ハードとソフトが融合した、安全で住みやすい住環境の形成を目指す。